

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 467 号	氏名	森山 紀章
学位審査委員	主 査 尾野村 治 副 査 畑山 範 副 査 田中 正一		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は医薬品や機能性材料の中間体合成にも利用できる高選択的かつ高効率な酸化反応を開発しようとしたもので、研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 入手容易な原料を付加価値の高い化合物に高選択的かつ高効率に変換できる酸化法として、環境負荷の小さい電極酸化法や窒素酸化物を用いる酸化法に着目した。特に L-リジンからの 1,4-ジデオキシピペリジンイミノ糖の立体選択的合成には電極酸化を鍵反応として、シクロヘキサノールやアダマンタンの酸化にはトリフルオロ酢酸と亜硝酸ナトリウムから発生させた窒素酸化物による酸化を検討することにした。 これまでの方法では効率性に問題のあった酸化を電極酸化や窒素酸化物酸化により達成しようとする本研究手法は高く評価できる。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で検討した結果、1,4-ジデオキシピペリジンイミノ糖の 4 種光学異性体を作り分ける方法、シクロヘキサノールのアジピン酸への酸化法、1-アダマンタノールの合成法の開発に成功した。いずれの反応も特殊な反応剤を用いず、高選択的かつ高効率に進行した。また、その選択性発現の機構の考察も行った。これら研究結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は医薬品合成化学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			